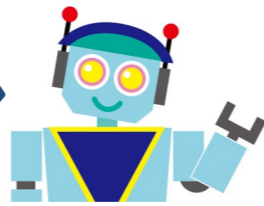


# 科学館ニュース



## ありがとう! 開館2周年 これからも... みてふれてつくって なっとく!



ペットボトル・ロケット→

DENZA環境科学館が開館して2年。

「昨年、ゴールデンウィークや夏・冬休みの科学館祭をはじめ、科学の祭典、室蘭こども環境フェスなどに、たくさんの方が参加されました。

新しい年・2024年は、多くの皆さんに『みて、ふれて、つくって、なっとく』いただけるよう、新たなプログラムを企画しています。どうぞ今年も科学館へお越しください。



▲火おこし体験



▲化石を探そう



▲室蘭こども環境フェス



▲紙トンボ作り



▲試験管の中に雪を降らせよう

# 彗星が見られそう!

昨年は、日食のような目立つ天文現象がなく、また流星群などもあいにく天気が悪かったため、室蘭地方の天体観察は、あまり恵まれない年でした。

さて、新しい年・2024年はどんな天文現象が見られるのでしょうか?

## 2024年の天文現象



★2020年に現れたネオワイス彗星



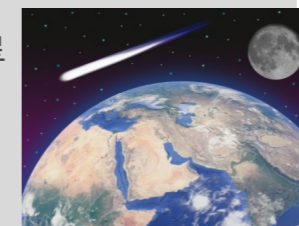
### すいせい 『彗星』 はほうき星とも呼ばれます

みなさんは『彗星』を見たことがありますか? 彗星は長い尾を引いて見えるので『ほうき星』とも呼ばれます。室蘭では2020年以来観察できませんでしたが、今年は2つの彗星を見ることができそうです。

1つ目の彗星は『ポン・ブルック彗星』です。1812年フランスの天文学者ジャン・ルイ・ポンが発見した周期彗星で、3月末から4月にかけて夕方の西の空に見えそうです。明るさは5等級程度と予想され、双眼鏡を使うと彗星の尾が観察できるでしょう。状況によっては予想以上に明るくなる可能性があります。

2つ目は『紫金山・アトラス彗星』です。2023年1月に中国の紫金山天文台で発見され、翌2月に南アフリカのアトラス小惑星地球衝突最終警報システム(ATLAS)が確認した新彗星です。0等級クラスまで明るくなると期待され、9月から10月中旬の日の出と日の入りのころに観察できそうです。

2024年の流星群は、8月のペルセウス座流星群の観察条件が良く、たくさんの流星が見られそうですが、ふたご座流星群など秋から冬にかけての流星群は月の影響を受け、観察条件は良くありません。



### 1月のスポットサイエンス

開催日	プログラム
13日(土)	工作『スライム作り』
14日(日)	くるくる回して動かすカーゲーム
20日(土)	実験『静電気で遊ぼう』
21日(日)	実験『いろいろなエネルギー』
27、28日(土・日)	音と遊ぼう
▼1月のファミリー・サイエンス	
24、31日(水)	『雪だるま工作』

※開催時間などくわしくは、ホームページをご覧ください。